



市の花
なのはな



市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

学 校 紹 介



～県立伊奈養護学校～

第15回






田んぼアートから校舎を望む

伊奈養護学校は、昭和57年に青古新田地区の自然豊かな田園の中に開校した特別支援学校で、小学部・中学部・高等部からなり、つくばみらい市、取手市、守谷市、常総市、坂東市の5市が通学区域となっています。

児童生徒数は、238人でスクールバスや公共交通機関、自転車などを利用して通学しています。

指導にあたっては、小学部では、生活や学習の基本となる習慣や態度を育むことを、中学部では、家庭生活や職業生活に必要な知識や技能を身につけることを目標に学習に取り組んでおり、高等部では職業参加への取り組みを重視しています。また、教職員が一丸となって児童生徒が必要とする支援などに考慮しながら、小・中・高一貫した教育を目指しています。

伊奈養護学校では、地域の方々に障がいのある児童生徒の理解と認識を深めていただく交流活動を積極的に行い、互いを思いやる心の醸成や本校生徒の「社会貢献の精神」を養う機会としています。ここに、地元つくばみらい市との交流の一端を紹介します。

小学部	中学部	高等部
<p>伊奈ライオンズクラブの方々と交流を図り、今年度はクラブの方々から提供いただいた、じゃがいも畑と一緒にじゃがいも掘りを行いました。自分の手で夢中で収穫した粒ぞろいのじゃがいもは、その場で「ふかしいも」として食べたり、子どもたちへのお土産や学校給食の食材になりました。</p> 	<p>身近な環境の学習の一環として『学校周辺のゴミ拾い』を青古新田地区の方々と一緒に行いました。ゴミの分別やいろいろなお話をしながら交流ができました。また、作業学習の木工班では、『匠の技』ということで、地元の建築関係の方々を招いて、「本立て」や「整理箱」を一緒に製作し専門的な技術を教えていただきました。</p> 	<p>昨年度から作業学習に「エコ班」を設けました。日頃は校内で「清掃」を中心としたサービス業の内容を学習しています。校外で行う実践的体験が生徒たちの自立につながると考え、市伊奈庁舎玄関前の窓ガラス清掃や保健センター周辺の植木の枝きりを、市の協力で市の職員の方々と一緒に行いました。この経験は、生徒の「社会貢献」という社会性の育成と作業学習の成果を試す機会となり、生徒一人一人の自信につながりました。</p> 

このように、地域の学校として、地域の方々とのふれあいや近隣の学校との交流活動を積極的に行っています。一人一人が社会の一員であり伊奈養護学校の児童生徒が目指すところ

も自立と社会参加です。しかしながら、学校教育だけでは目標実現は難しく、地域の方々のご支援とご協力を賜り目標に向かって着実に進めて参りたいと思います。